

第5回 津山市教育振興基本計画検討委員会 会議録【概要】

日 時 平成28年10月25日(火)18:00~20:05

場 所 津山市役所東庁舎E302会議室

出席者

・津山市教育振興基本計画検討委員 7名

委員長 松岡信義(美作大学短期大学部教授)

副委員長 松本浩之(津山市PTA連合会会長)

委 員 小坂田昌平(津山市体育協会会長)、菅原良二(一般公募)、
杉山明(津山工業高等専門学校教授)、福田邦夫(津山朝日新聞社
代表取締役社長)

・事務局 教育長、教育委員会関係部課長、企画調整官、関係各課長等 18名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 議事

意見・指摘事項について

(事務局説明)

・「津山市教育振興基本計画(第2期)(案)第1章~3章のご意見について」並びに「津山市教育振興基本計画(第2期)(案)第4章のご意見について」の第3回・第4回の検討委員会でいただいたご意見、ご質問に対する考え方を説明。

(委員の意見)

・了承。

第4章

(事務局説明)

・第4章「3 過去から現在、未来へつなぐ力を育む」を説明

(委員の意見)

・28ページ【重点取組と指標・目標】の27年利用者数が実績で15,255人、28年度の目標が5,050人。最終的に33年に目標値が16,000人。この目標値の変化というのは、正しいのか。

・平成27年の実績の部分に平成27年度の目標値も一緒に記載したらわかりやすいのでは

ないか。実績しか記載していないから、何に対する目標かわからなくなるので、目標値があった方がいいと思う。

- ・前期5年間のわかるような対比の数字をした方がいい。
- ・27ページの【施策の方向性】最後の2行、「さらに…」の文章がわかりにくい。
- ・生涯スポーツ振興の施策の方向性の最後のところに、スポーツツーリズムの推進がありますが、そのスポーツツーリズムの推進のための具体的な取り組みというのがないのではないか。
- ・スポーツ振興基本計画策定事業は、【施策の方向性】にあげて、には、そういう策定事業のための委員会を設置するというのではないか。
- ・スポーツ振興基本計画策定事業そのものはどういう組織がされているのか。
- ・スポーツツーリズムが、あちこちにかかっているようですが、これを1つの項目にあげ、これに対して「見るスポーツ」「ささえるスポーツ」の提供とか、合宿誘致費用助成金とか、スポーツ大会開催運営費補助金を項目であげて、ひとつの枠を作ったらどうか。
- ・生涯スポーツの振興の方向性を見た時、学校体育を終了した人を対象に記載しているようにしか読み取れない。もう少し、この部分を検討してもらいたい。
- ・部活動の指導について、先生は専門でもないのに部活動をやらなければいけない。しかし、先生も大変だが、そこに入っている生徒も、素人の指導者と経験のある人とではずいぶん違います。学校体育に生涯スポーツの中で秀でた人が指導者として入ってもいいのではないか。
- ・基本計画の中に検討課題という計画をつけてはどうか。
- ・【主な取組】の指導者の育成について、ただ単なる指導者の育成でなく、教育的な観点をもった指導者を育成・確保に努めますにしているだけではないか。
- ・社会体育施設の年間利用者数の推移について、平成26年度から27年度に利用者数が、13万人ほど、減少していますが、これはどうしてこんなに減少したのか。
- ・表に注意書きをお願いする。
- ・美術館はいつごろできそうか。
- ・37ページの【主な取組】「音楽を通じて交流を図ることを通じて地域の音楽文化振興に取り組みます」というところの文章を整理してください。
- ・38ページの【重点取組と指標・目標】の事業指標の内容が3つある。「後援件数[教育委員会]」の後援件数は、芸術文化の振興に限った後援件数ということか。スポーツ等は含まれないのか。
- ・「後援件数[教育委員会]」新規というのは。どんな意味か。
- ・41ページの【施策の方向性】の2行目「記録化」とあるが、デジタル化のことか。また、「指定・登録などの方向」の指定と登録が並んでいるのがよくわからない。

その他

第 5 回 検討委員会 平成 28 年 11 月 29 日（火）13：30～

4 その他
なし

5 閉 会